

2026 年 9 月 1 日

愛媛県総合科学博物館で、 「進化する水陸両用ブルドーザ出前授業」を実施しました

青木あすなろ建設株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：望月尚幸）は、2026 年 8 月 23 日、愛媛県総合科学博物館にて、2025 年大阪・関西万博「未来の都市」パビリオンに出展した「未来の水中工事」の取り組みを伝えるレガシーEXPO として、進化する水陸両用ブルドーザ出前授業を実施しました。

出前授業は、万博は未来へのスタートとの認識のもと、万博をきっかけに未来を考え行動することを目指し、閉幕後も全国の学校で展開しております。愛媛県では 1 月 27 日に西条市立丹原西中学校で実施しました。

西条市での出前授業の報道をきっかけに、愛媛県総合科学博物館より、特別展「はたらく乗り物ワンダーランド(7/11～9/23)」展示および特別展開連イベント「出前授業(8/23)」への参加依頼を受け、今回の実施に至りました。館内の特別展では「未来の水中工事」を展示中です。

出前授業では、気候変動・地球温暖化、激甚化・頻発化する自然災害、少子高齢化・担い手不足といった社会課題の解決を図る「未来の水中工事」について、水陸両用ブルドーザのラジコン模型の操縦体験も交え、紹介しました。小学生を含む約 30 名が参加しました。

水陸両用ブルドーザが進化した水中施工ロボットが活躍する「未来の水中工事」を通じ、「未来はみんなで変えられる」との思いが広がる時間となりました。



授業の様子



水陸両用ブルドーザ模型 操縦体験



青木あすなろ建設は、今後も変化への挑戦を体現し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを継続してまいります。



「未来の水中工事」公式サイト：<https://www.aaconst.co.jp/underwater-construction-future/>

以上